

歩掛参考見積募集要領
(見積名称：浦山ダム清水バイパス補修設計業務（仮称）)

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年1月21日

独立行政法人水資源機構
荒川ダム総合管理所
所長 山中 充治
(公印省略)

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、荒川ダム総合管理業務で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は添付のEXCEL様式（荒川ダム総合管理所ホームページよりダウンロードできます）を使用して下さい。
- (2) 提出期間：令和8年1月21日（水）から令和8年2月3日（火）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
9時から16時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所 所長 山中 充治 宛
【担当】総務課 佐古田
〒369-1801 埼玉県秩父市荒川久那 4041
TEL 0494-23-1431 FAX 0494-23-7912
電子メールアドレス：nyukei_arakawa@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、電子メール、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

※押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

浦山ダム清水バイパスにおける取水堰改修設計、浮遊管代替検討、管路補修設計。

(2) 業務作業項目、作業内容

別紙の「参考見積仕様書」のとおりとします。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（２）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和７年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和８年１月２１日（水）から令和８年１月２６日（月）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、９時から１６時まで

(2) 提出場所：３．（３）に同じ。

(3) 提出方法：３．（４）に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和８年１月２９日（木）から令和８年２月３日（火）まで

(2) 閲覧方法：荒川ダム総合管理所ホームページに掲載します。

7. 参考見積条件

有効期限：令和９年３月３１日

8. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

10. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

参 考 見 積 仕 様 書

件名：浦山ダム清水バイパス補修設計業務（仮称）

第 1 節 業務目的

本業務は、浦山ダム清水バイパスについて、老朽化等に伴い補修が必要となっている取水堰の改修設計及び浮遊管の代替検討、コンクリート管路の補修設計を行うものである。

第 2 節 業務内容

2－1 設計計画

業務目的、検討条件及び業務内容を把握したうえで、共通仕様書第 1 章第 12 節に基づき、業務計画書を作成するものとする。

2－2 現地踏査

清水バイパス周辺状況、地形、地質、周辺構造物等を把握・確認するとともに、改修及び補修等の設計に必要な現地状況を把握するために現地踏査を行うものとする。

なお、現地踏査は、清水バイパス全延長について行うものとし、現在の状況を分かりやすく整理するものとする。

2－3 取水堰改修設計

(1) 基本事項の検討

清水バイパスは、浦山ダムにおいて出水後に発生するダム下流への濁水放流の長期化を軽減するために設置されたものである。取水堰には土砂吐きゲート等が無いため、出水等により取水堰の沈砂池と取水ピットに土砂が堆砂し、取水が出来ないことが多く発生している。このため、維持管理が容易になるように土砂が堆積しづらい構造に変更する必要がある。

検討を行う際に取水堰改修設計に必要な基礎資料の収集や取水堰上流に設置されている県の砂防堰堤の堆砂状況等を調査し整理するとともに、基本事項に必要な内容を検討するものとする。

(2) 取水堰改修設計

現地踏査及び基本事項の検討結果に基づき、取水機能を確保したうえで土砂吐き構造等を考慮した取水堰の改修設計を行うものとする。改修設計にあたっては、水叩きの鉄筋補修も考慮しながら、施工性、経済性、維持管理等も考慮した複数案の比較検討を行い、最適案について設計するものとする。

(3) 設計図の作成

次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
縦断面図	V=1/100 H=1/500	
標準断面図	1/100	
横断面図	1/100	
構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/10～1/30	
その他調査職員が指示する図面		

(4) 施工計画書の作成

経済的かつ合理的に工事を行うために必要な施工計画を作成するものとする。

工事の施工時期は、非洪水期（10/1以降）を予定している。

(5) 数量計算

数量計算は、「土木工事数量算出要領（案）：国土交通省」により行うものとし、算出した結果は、「土木工事数量算出要領数量集計表（案）：国土交通省」に基づき、工種別にとりまとめるものとする。

なお、記載のないものは、調査職員が指示する方法によりとりまとめるものとする。

(6) 概算工事費算出

共通仕様書第2章第11節に基づき、概算工事費を算定するものとする。

(7) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(8) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

2-4 浮遊管代替検討

(1) 基本事項の検討

清水バイパスの浮遊管は、ポリエチレン管で施工されており、過去に損傷及び補修を実施してきており、回転部は補強されている。このため、浮遊管の基本構造や補修履歴等の資料収集及び整理を行い、浮遊管の基本事項に必要な内容を検討するものとする。

(2) 水中部等現況調査

浮遊管の状況について、水中部も含めた現況調査を行い、異常の有無について確認を行うとともに、どの位置に沈んでいるか平面図や断面図等に整理するものとする。

なお、浮遊管は水深が約 40m と深い位置にあると想定されるため、水中ドローンによる調査を行うものとする。

(3) 浮遊管現況解析

浮遊管上流部及び下流部の回転部については、ひずみ計が設置されており、浮遊管の現在の状況がどのようなになっているか解析を行うとともに、浮遊管の設計条件と現在の状況を整理し、問題点があるか確認するものとする。

また、現況の浮遊管に異常や問題点がある場合は、内容について整理し、補修を行うための対策検討を行うものとする。

(4) 浮遊管代替案検討

現況の浮遊管も含めた代替案の検討を複数案行うものとする。比較検討の際には、維持管理や概算金額、現況の課題等も含め検討を行うものとする。

(5) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(6) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

2-5 管路補修設計

(1) 管路補修設計

1) 現地踏査結果及び基本事項の検討結果に基づき、管路基礎洗掘箇所の補修設計を行うものとする。補修方法については、現地の地形状況を踏まえ、維持管理を考慮した複数案を検討し、最適案について設計を行うものとする。

2) 管水路脇及び浮遊管上流部の回転部について、単管点検足場が設置されている。

単管点検足場の点検を行い、補修設計を行うものとする。

(2) 設計図の作成

次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
縦断図	V=1/100 H=1/500	
標準断面図	1/100	
横断図	1/100	
構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/10～1/30	
その他調査職員が指示する図面		

(3) 施工計画書の作成

経済的かつ合理的に工事を行うために必要な施工計画を作成するものとする。

(4) 数量計算

数量計算は、「土木工事数量算出要領（案）：国土交通省」により行うものとし、算出した結果は、「土木工事数量算出要領数量集計表（案）：国土交通省」に基づき、工種別にとりまとめるものとする。

なお、記載のないものは、調査職員が指示する方法によりとりまとめるものとする。

(5) 概算工事費算出

共通仕様書第2章第11節に基づき、概算工事費を算出するものとする。

(6) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(7) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

以 上

清水バイパス取水堰状況写真



取水堰堆砂前



取水堰堆砂後



取水堰堆砂前



取水堰堆砂除去後



取水堰堆砂除去状況



取水堰堆砂除去後



取水堰スクリーン内堆砂状況



取水堰堆砂除去後

清水バイパス基礎状況写真



コンクリート基礎劣化状況 (No.58付近)



コンクリート基礎洗掘 (No.60付近)



コンクリート基礎洗掘 (No.62付近)



コンクリート基礎洗掘 (No.63付近)



コンクリート基礎洗掘 (No.64付近)



浮遊管上流部 単管点検足場



単管点検足場 (一部分)



下流側全景



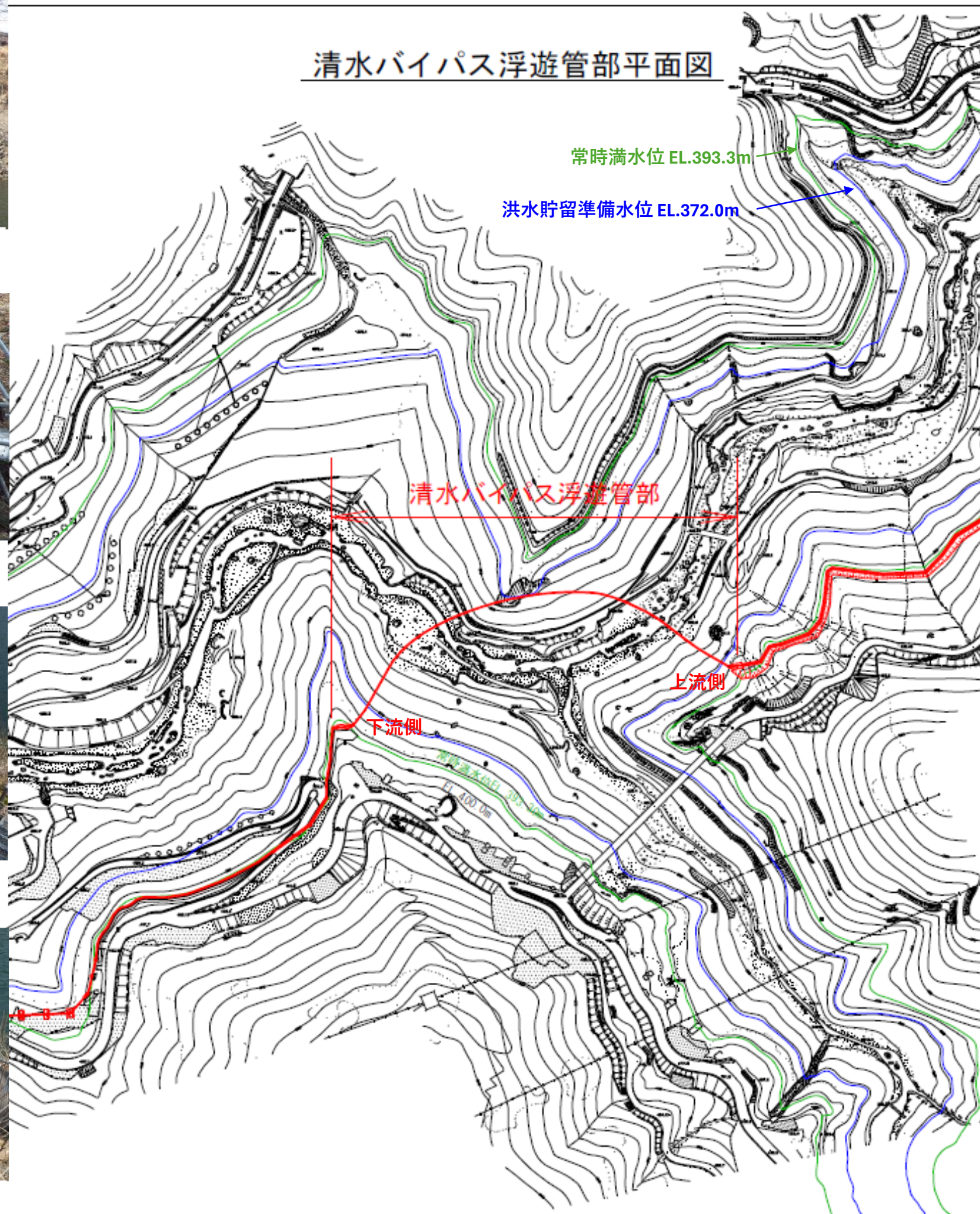
下流側近景 (回転部)



ひずみ計 (上段)



ひずみ計 (下段)



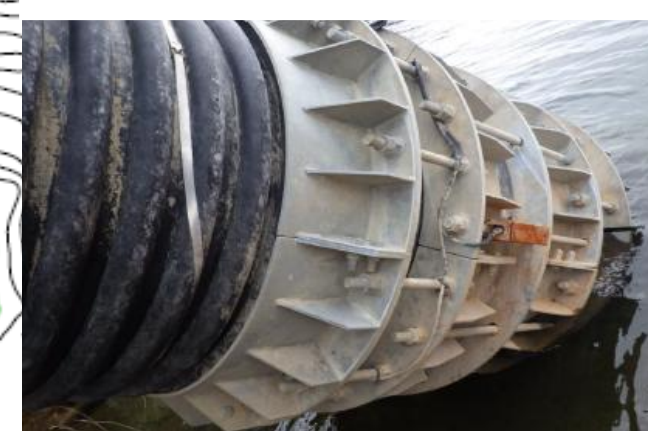
上流側全景



上流側近景 (回転部)



ひずみ計 (上段)



ひずみ計 (下段)

浦山ダム清水バイパス補修設計業務（仮称）

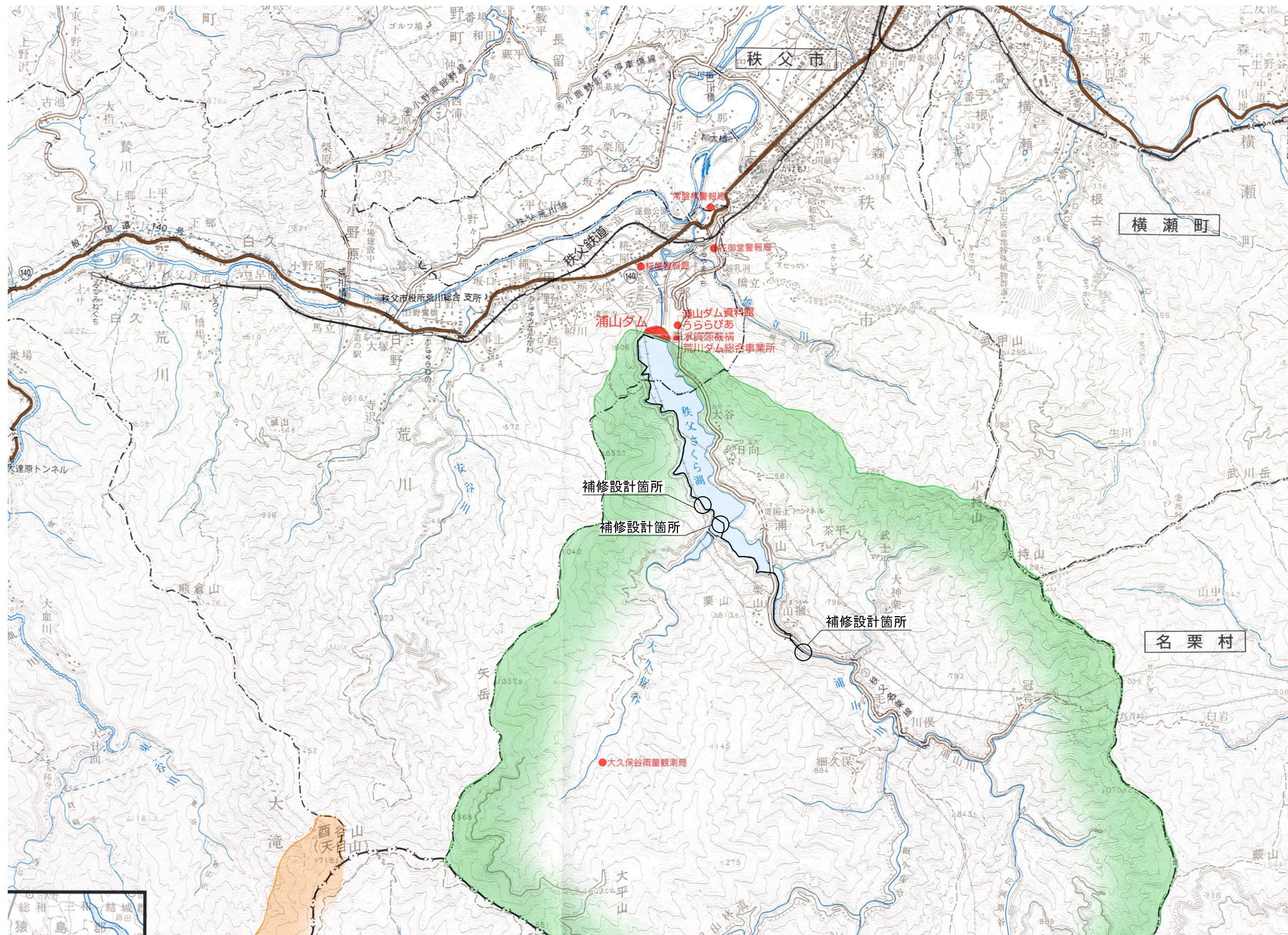
令和 8年 1月

独立行政法人水資源機構

荒川ダム総合管理所

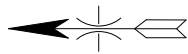


位置図



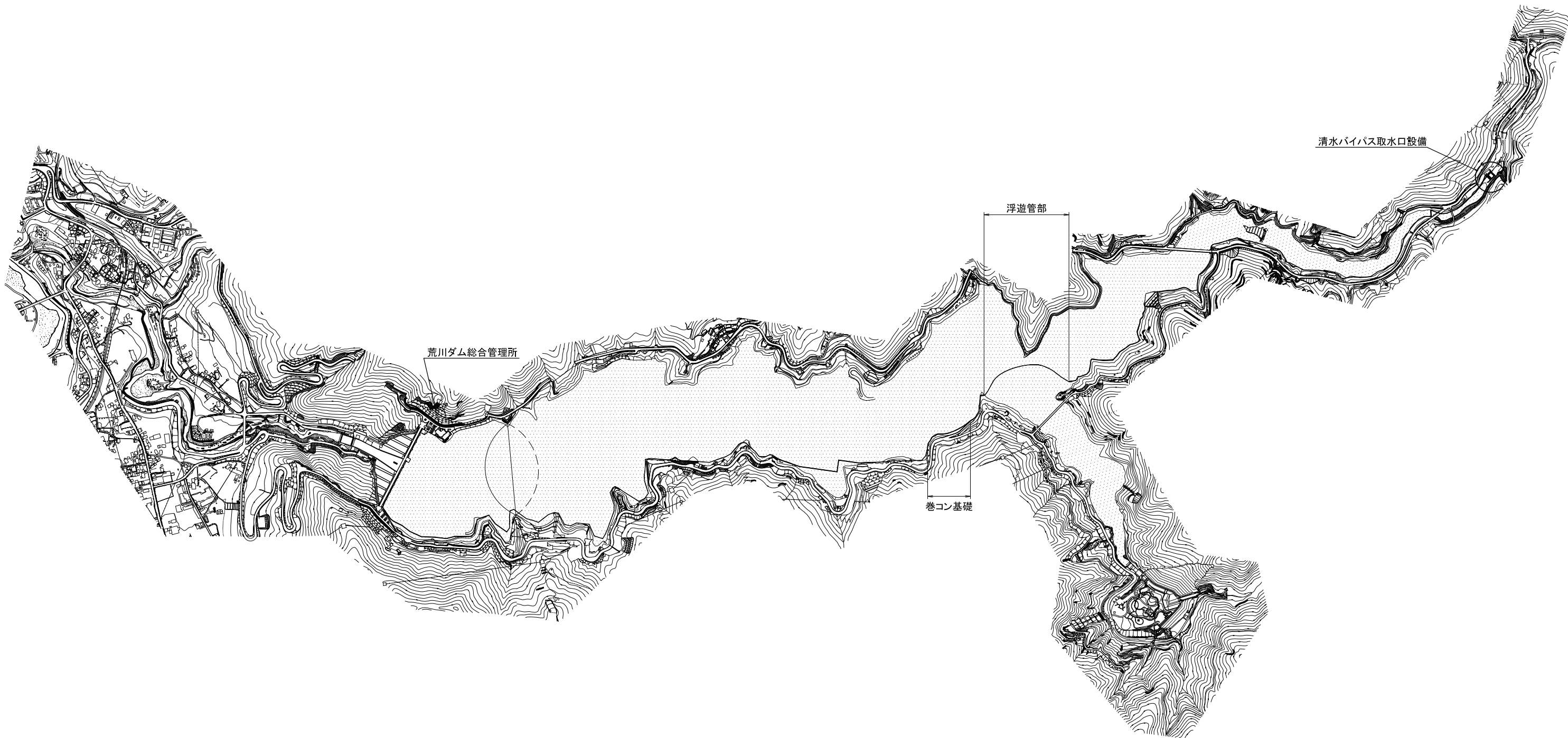
S=1:25,000
0m 500m 1,000m 2,500m

工事名 浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名称 位置図	
縮尺 S=25,000	
登録番号	整理番号 1/13
独立行政法人 水資源機構 荒川ダム総合管理所	



浦山ダム平面図

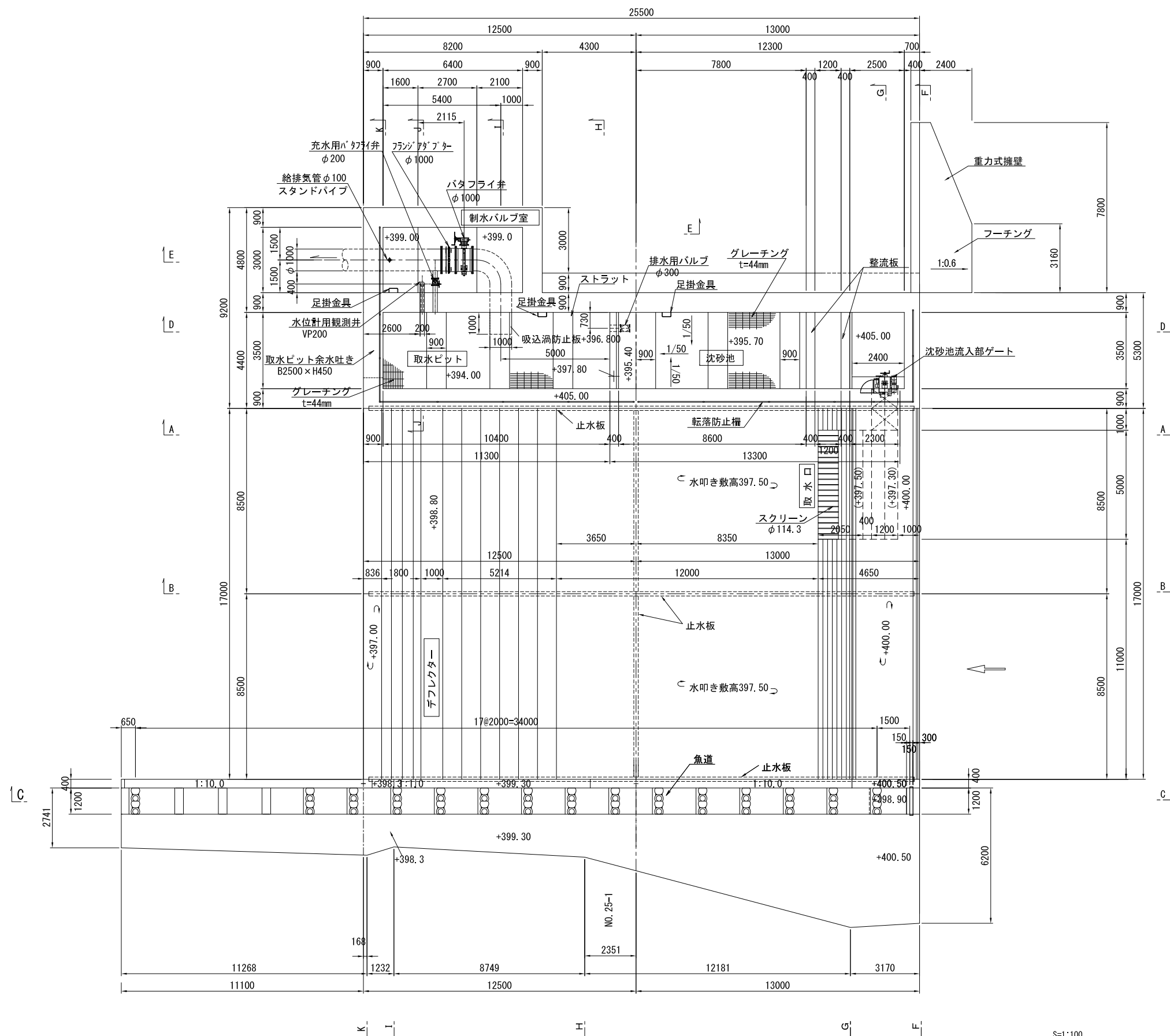
S=1:7,500



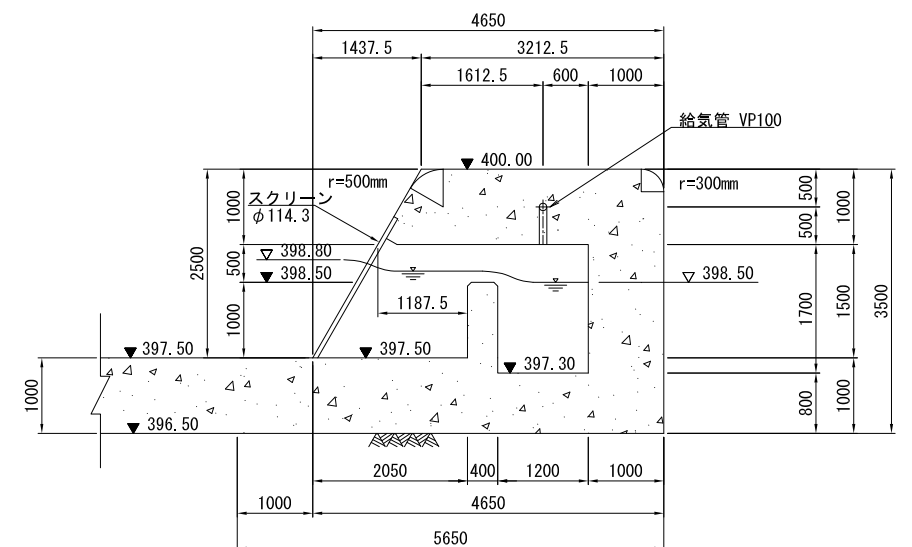
工事名 浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名称	浦山ダム平面図 縮尺 S=1:7,500
登録番号	整理番号 2/13
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	

取水口設備構造図（１）

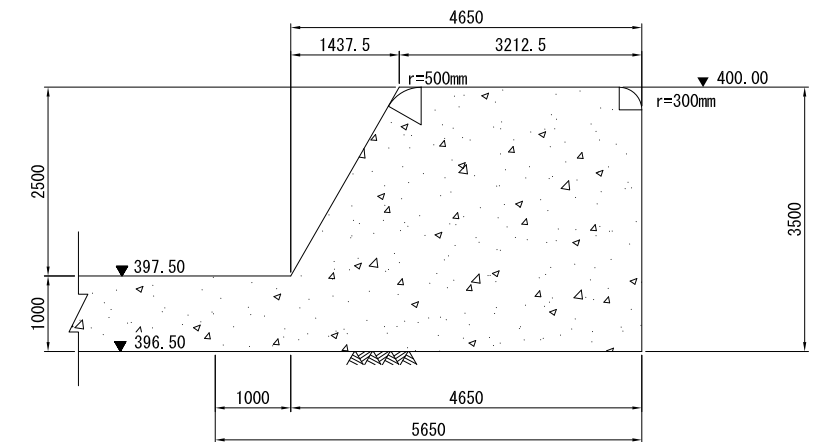
平面図 S=1:100



取水口詳細図 S=1:50



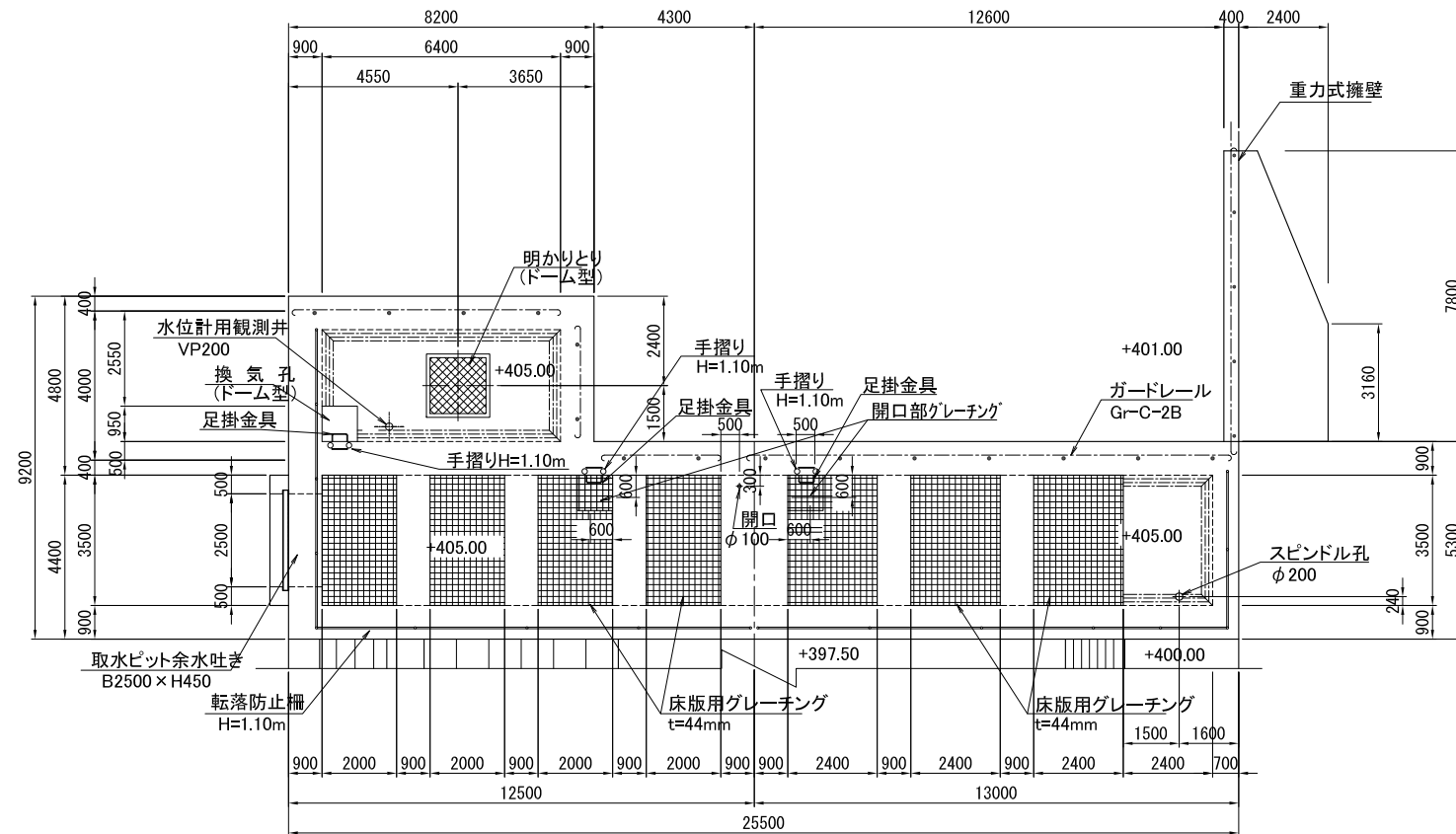
越流堰詳細図 S=1:50



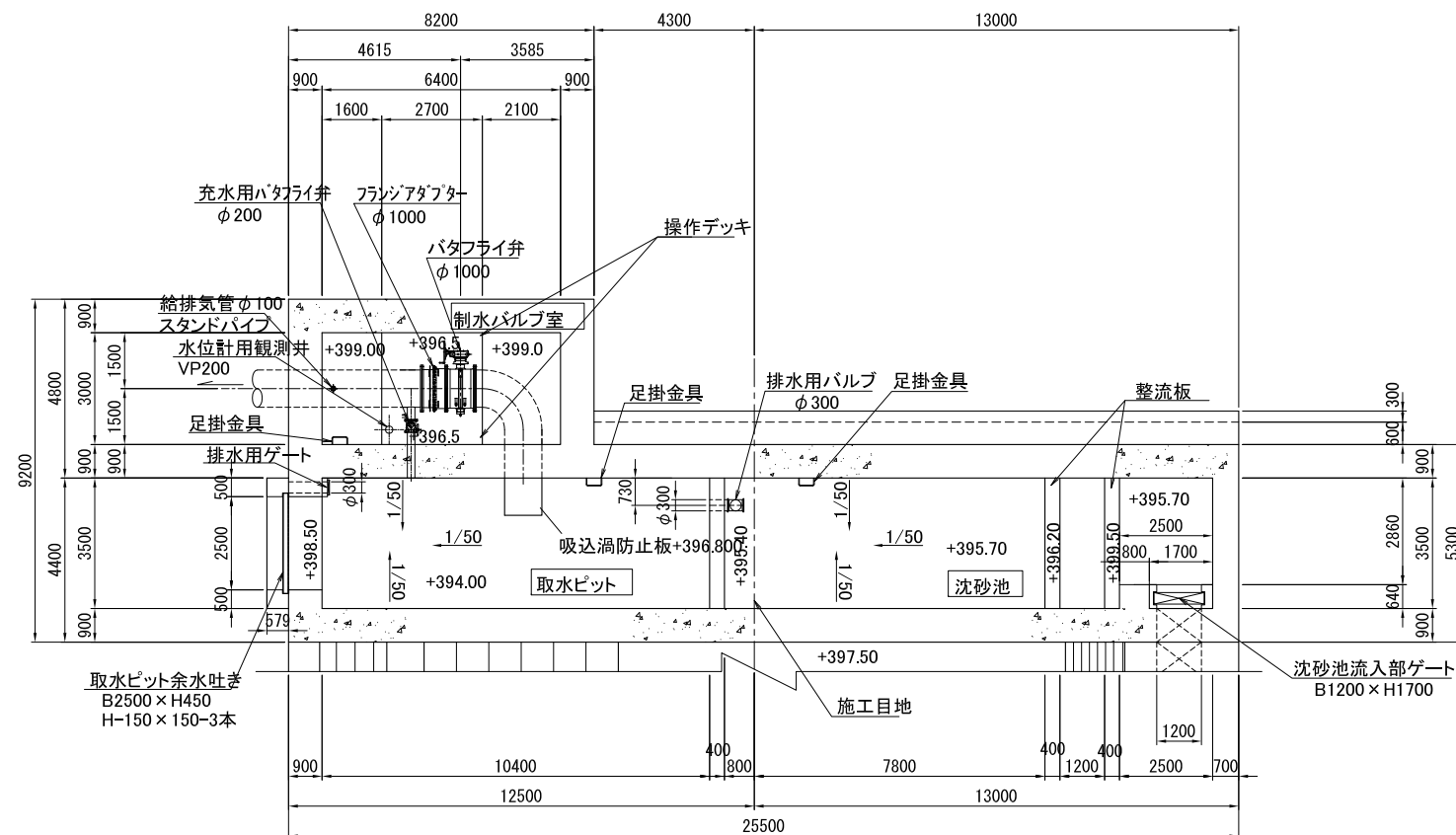
工事名 浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名 称 取水設備構造図(1)	
登録番号	縮尺 図 示
	3/13
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	

取水口設備構造図(2)

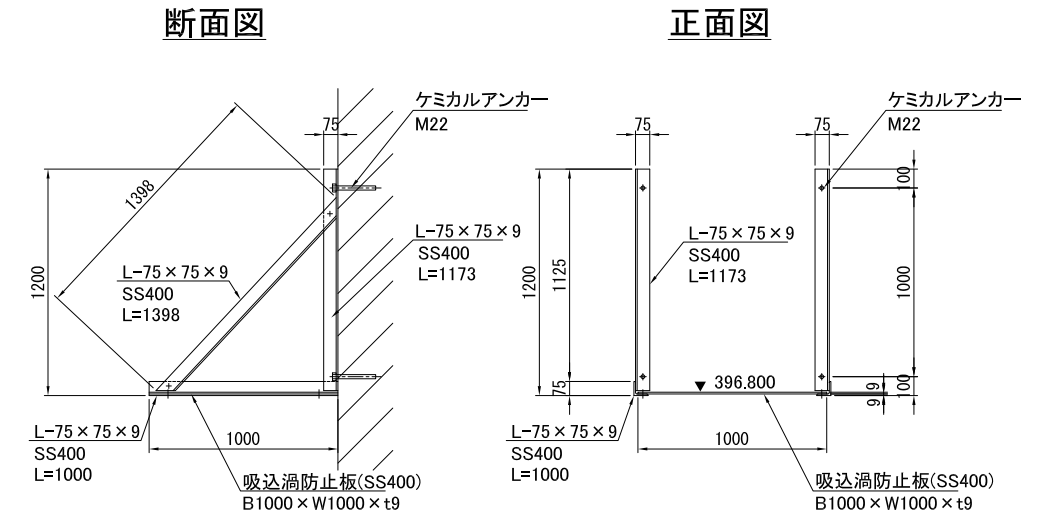
平面图 (E L 405.00) S=1:100



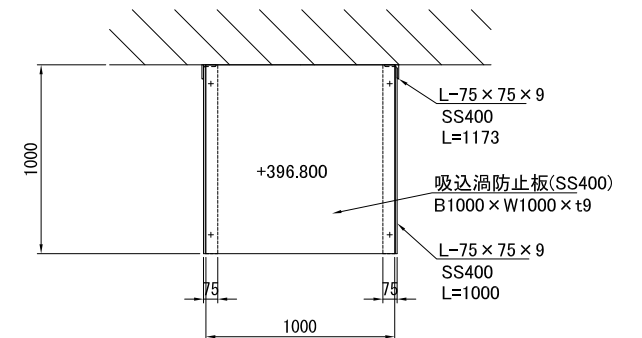
平面图 (E L 400.00) S=1:100



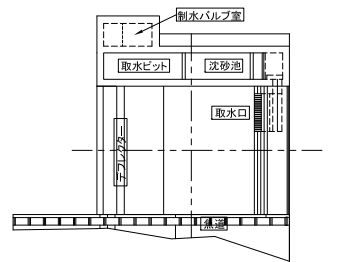
吸込渦防止板詳細図 S=1:20



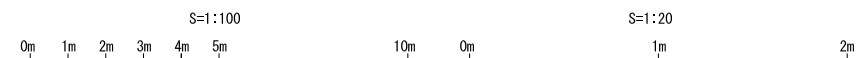
平面图



位置図

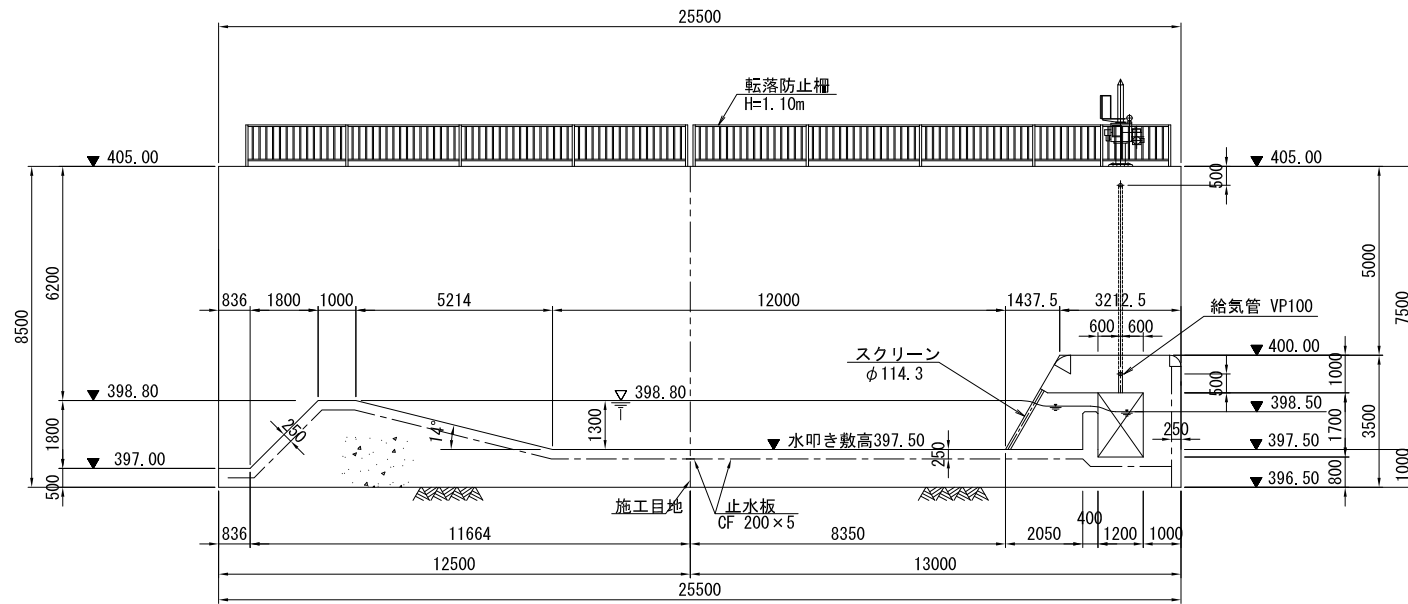


工事名 浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名 称 取水設備構造図(2)	
登録番号	縮尺 図 示 整理番号 4/13
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	

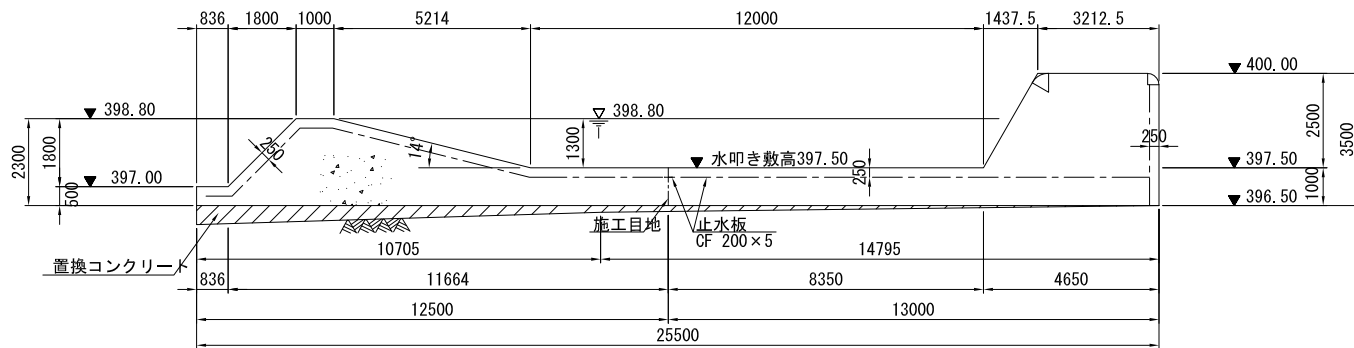


取水口設備構造図 (3) S=1:100

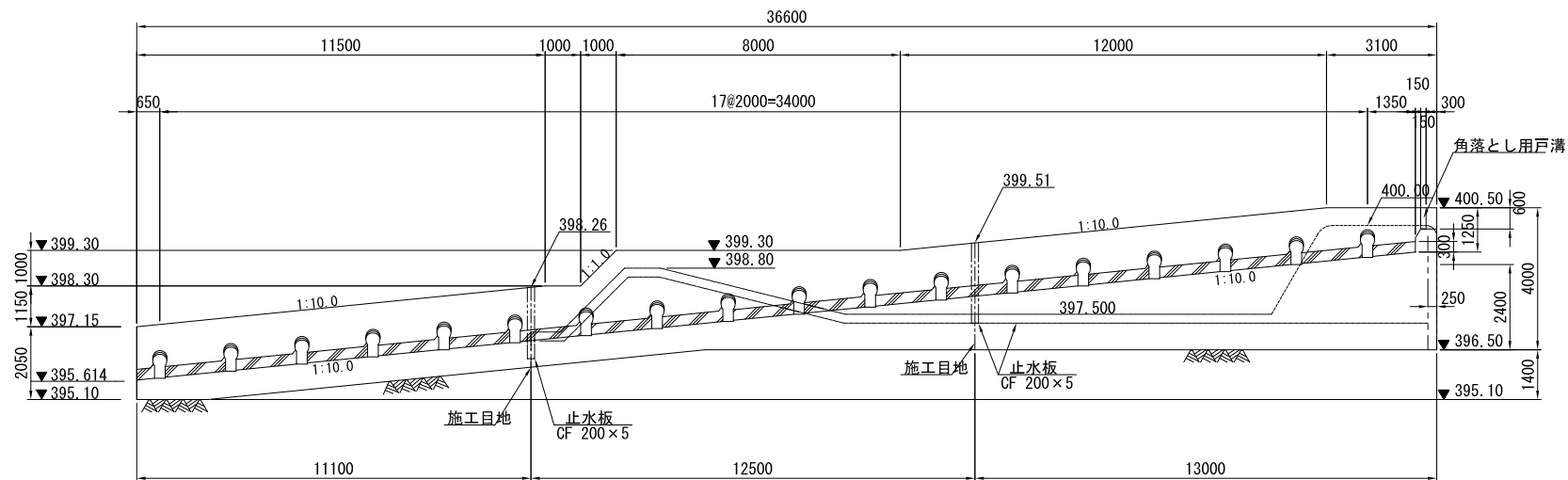
A-A 断面



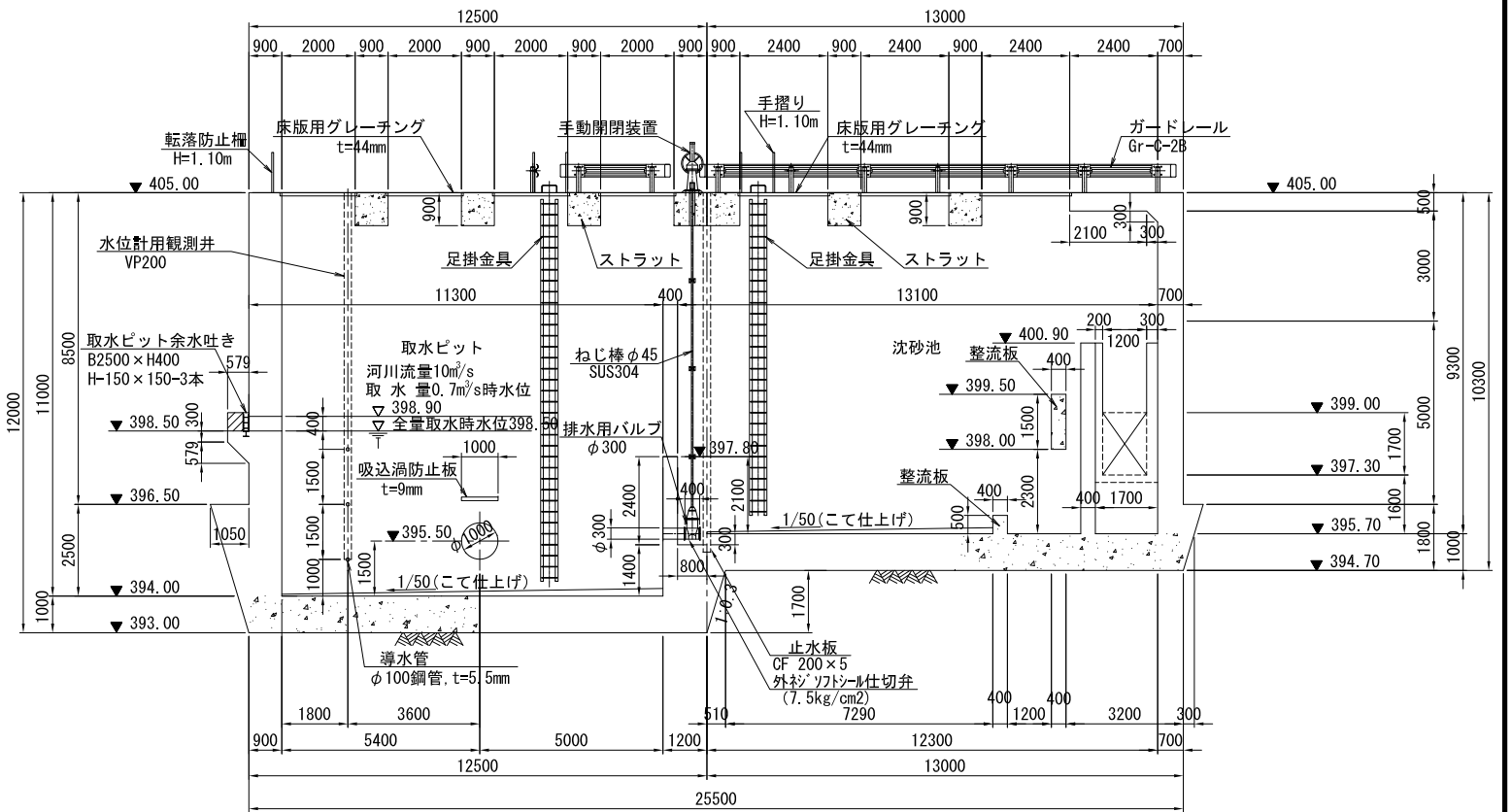
B-B 断面



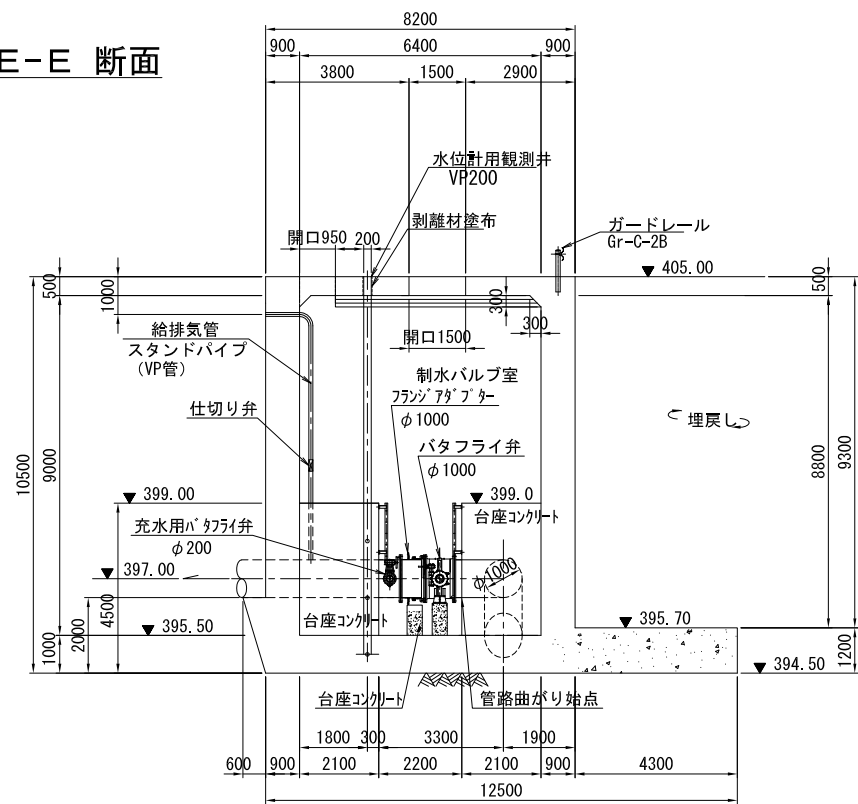
C-C 断面



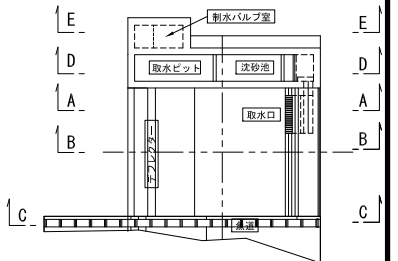
D-D 断面



E-E 断面



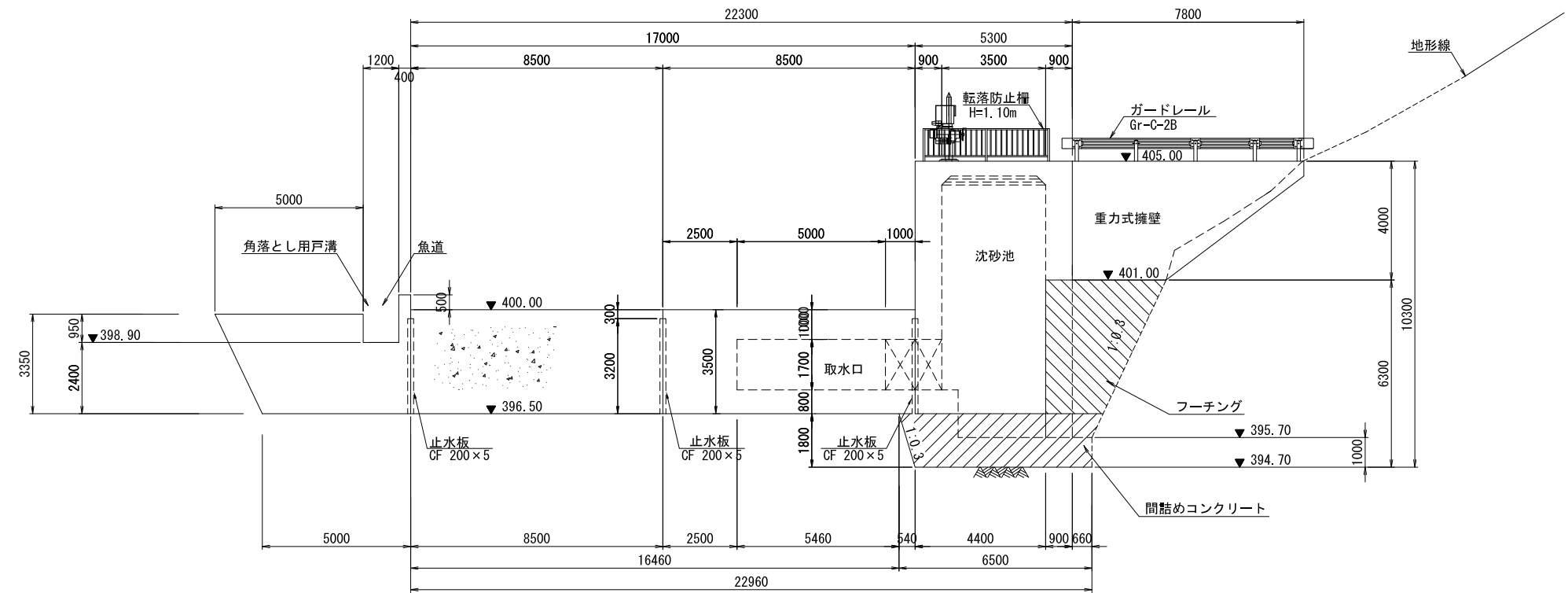
位置図



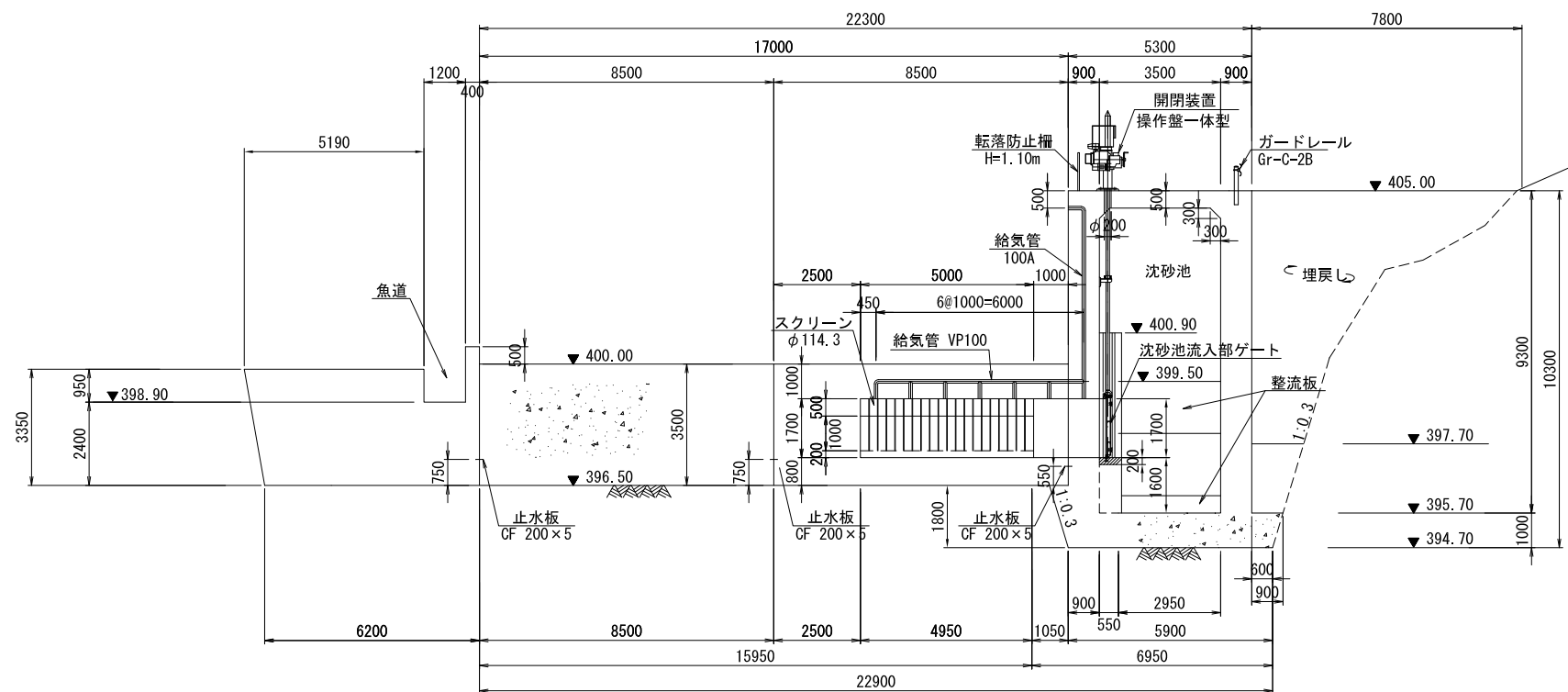
工事名	浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)		
名 称	取水口設備構造図(3)		
登録番号	25-03-02	整理番号	5/13
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所			

取水口設備構造図（４） S=1:100

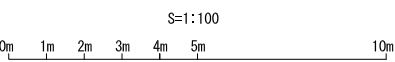
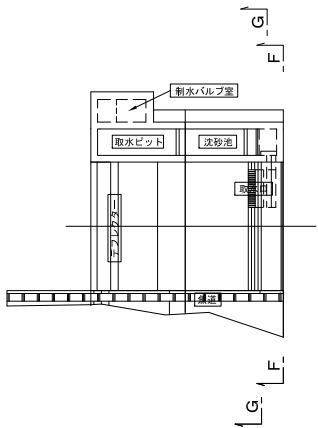
F-F 断面



G-G 断面



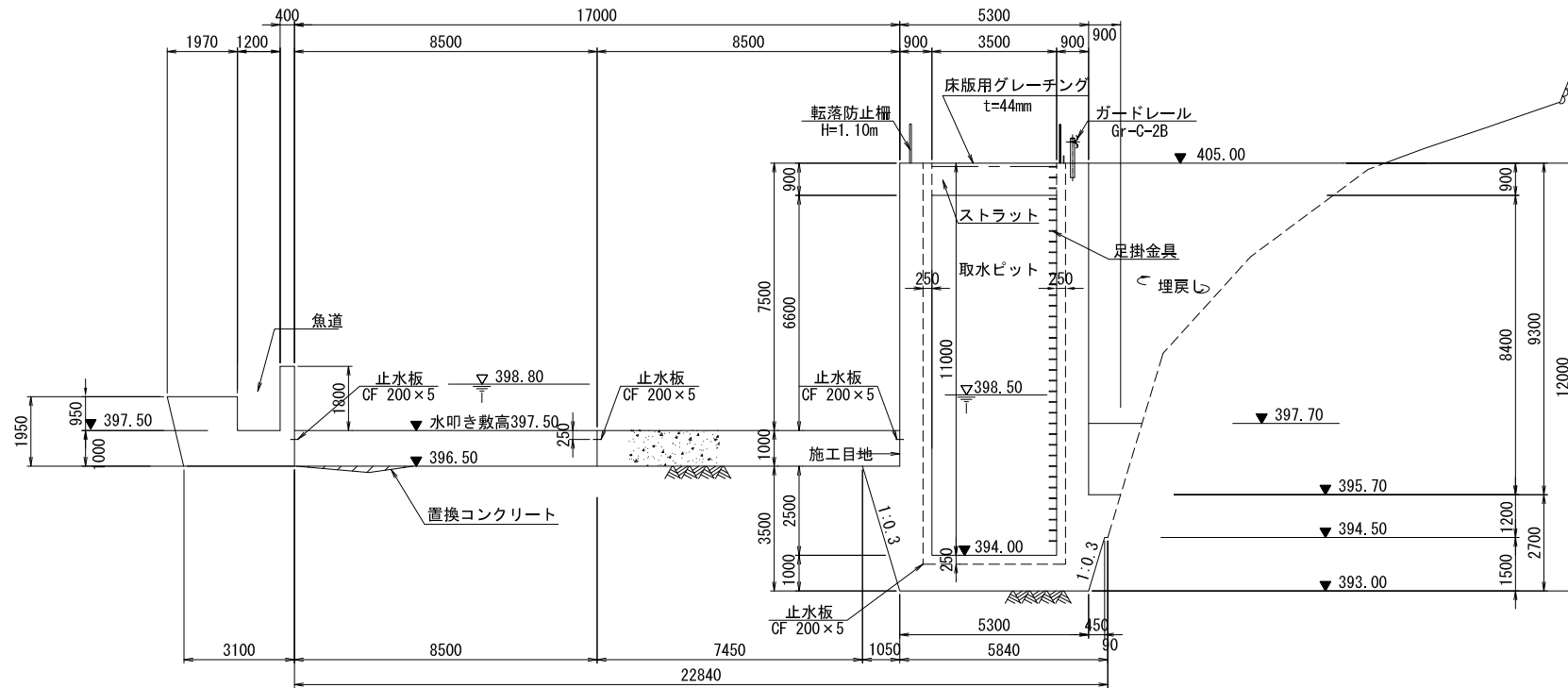
位置図



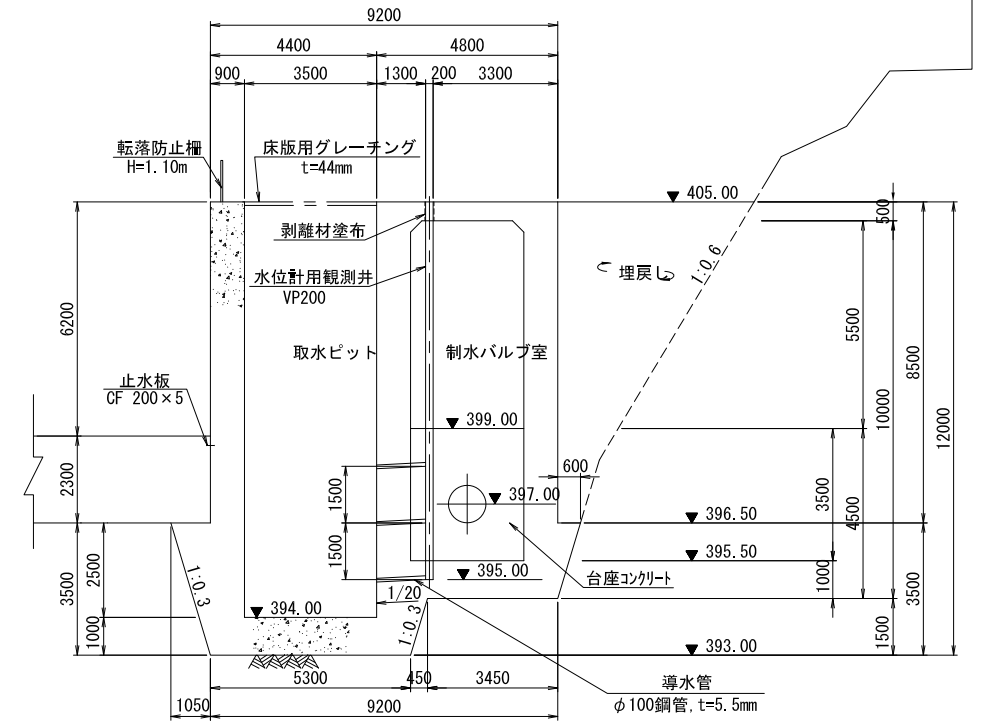
工事名	浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)		
名 称	取水口設備構造図(４)		
登録番号	整理番号	縮尺 S=1:100	
		6/13	
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所			

取水口設備構造図 (5) S=1:100

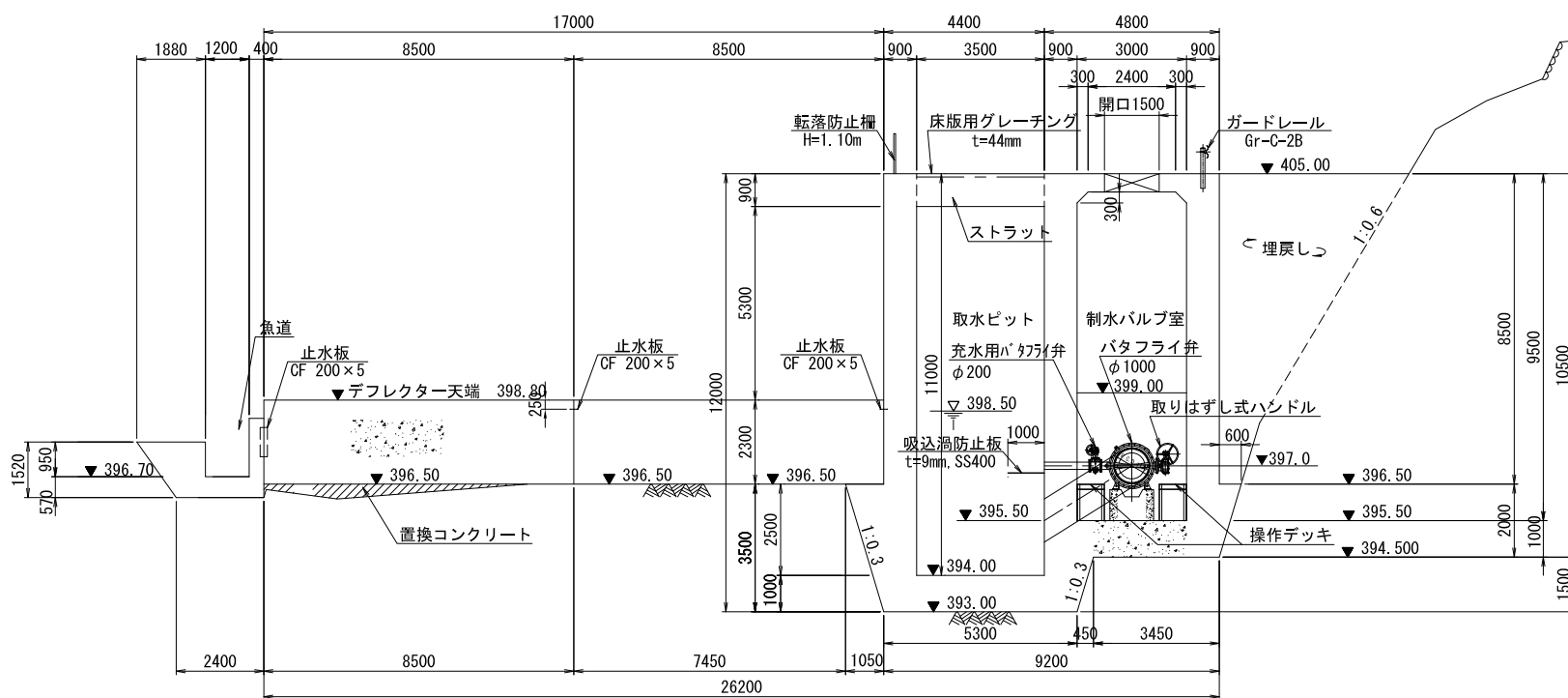
H-H 断面



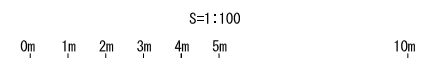
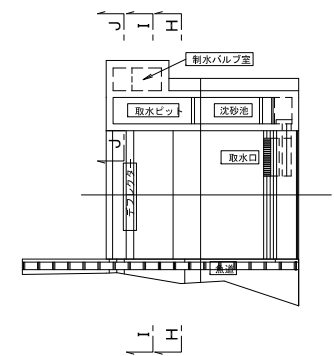
J-J 断面



I - I 断面

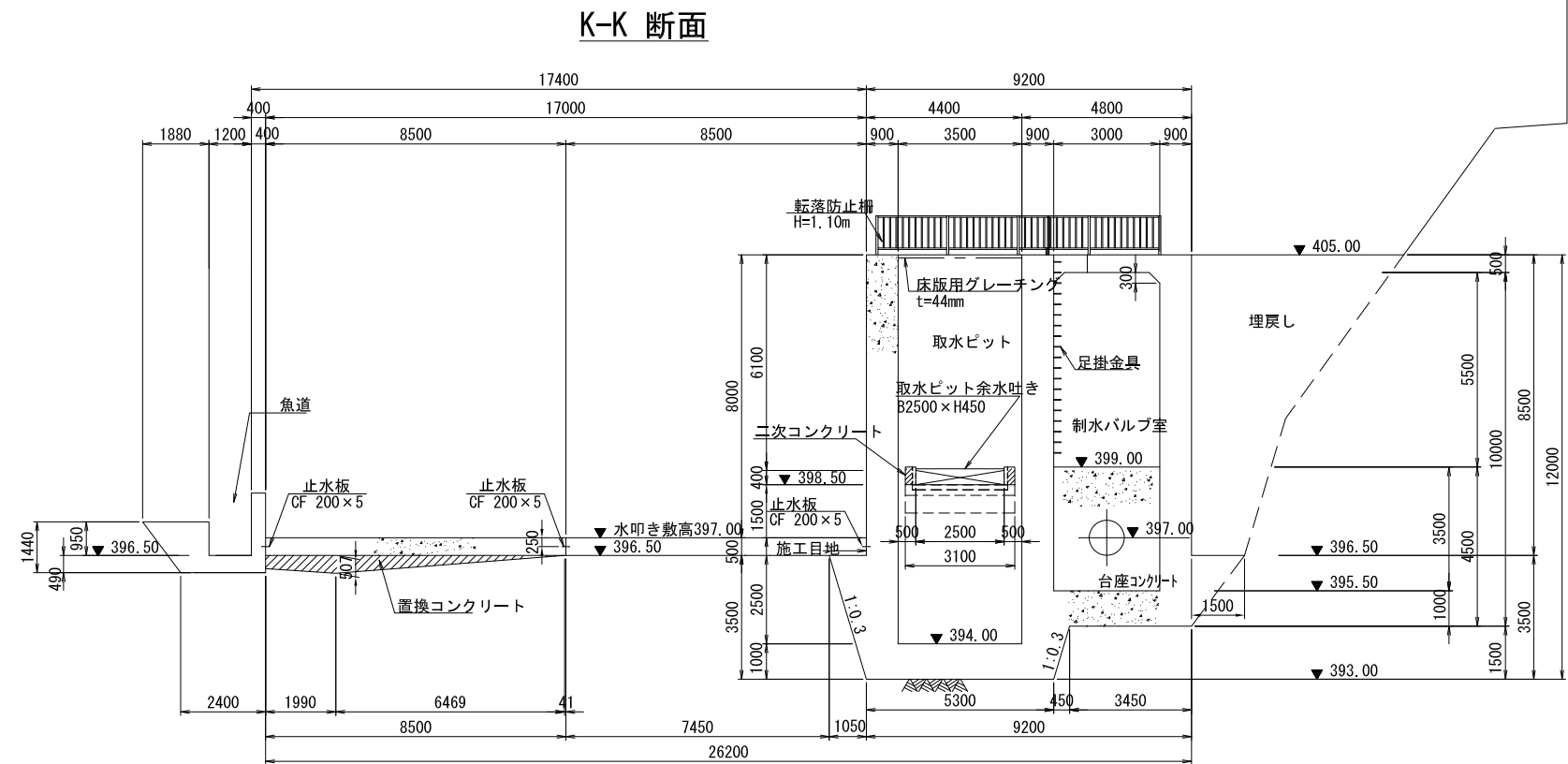


位置図

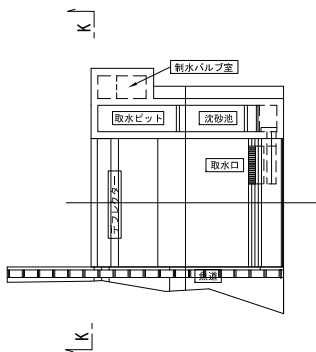


工事名 浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名 称 取水設備構造図(5)	
縮尺 S=1:100	
登録番号	整理番号 7/13
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	

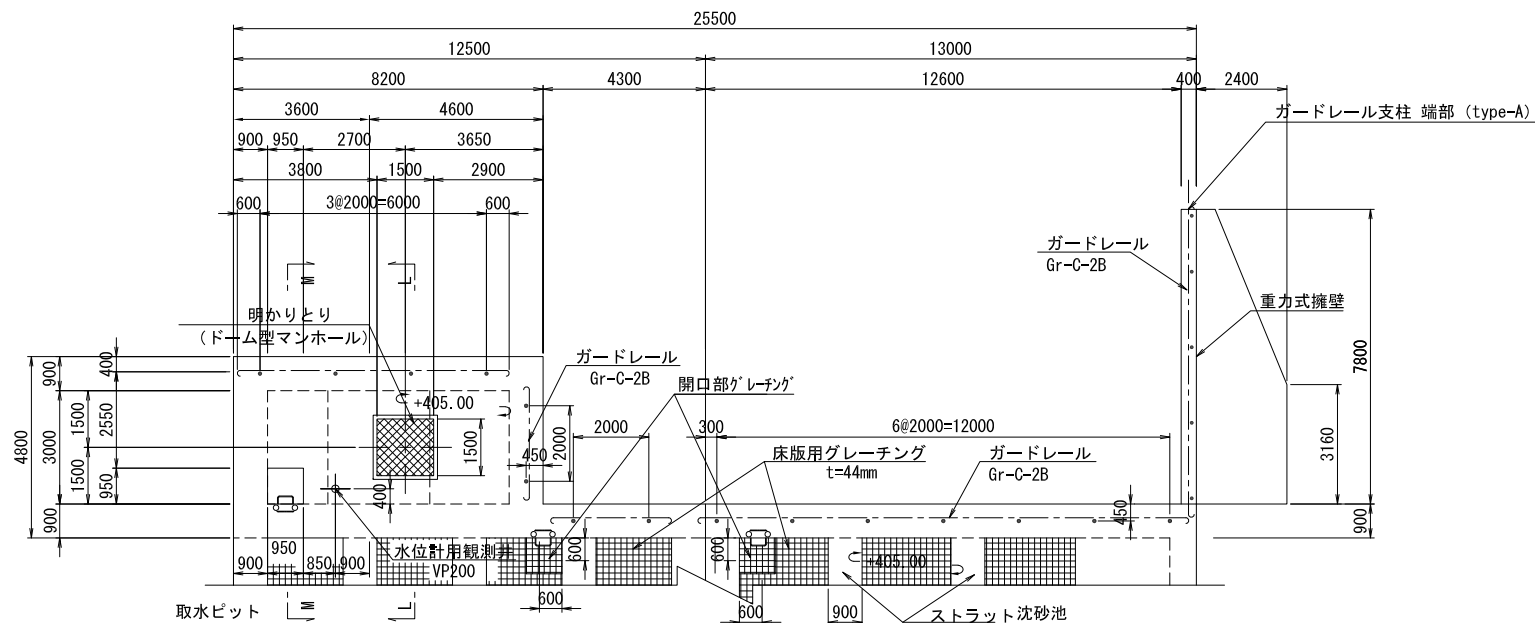
取水口設備構造図（6） S=1:100



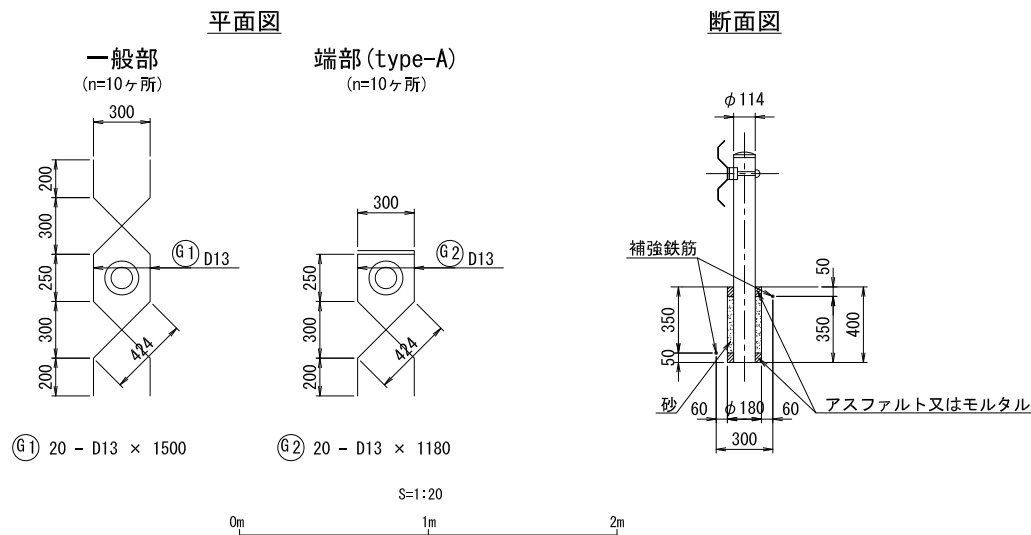
位置図



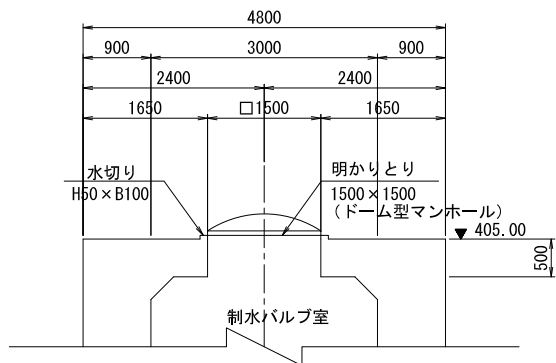
付帯工平面図 S=1:100



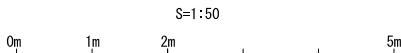
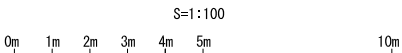
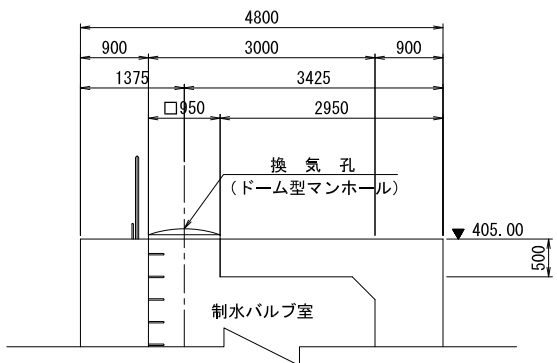
ガードレール支柱補強鉄筋詳細図 S=1:20



L-L 断面 S=1:50



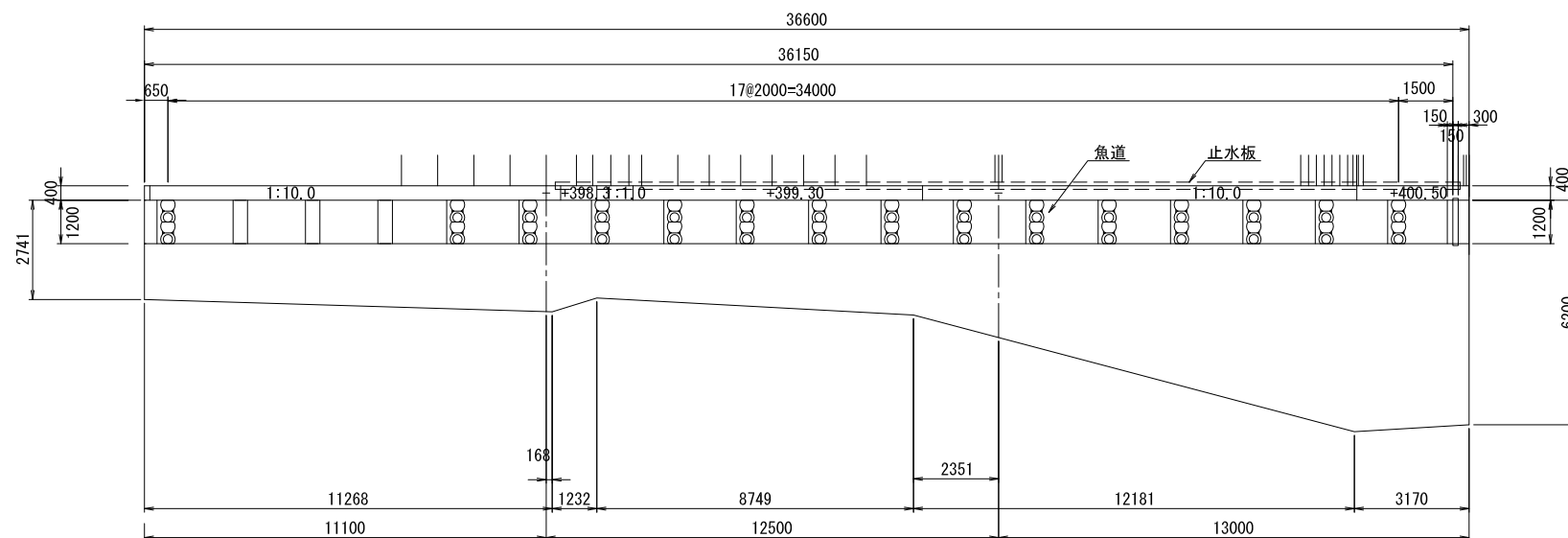
M-M 断面 S=1:50



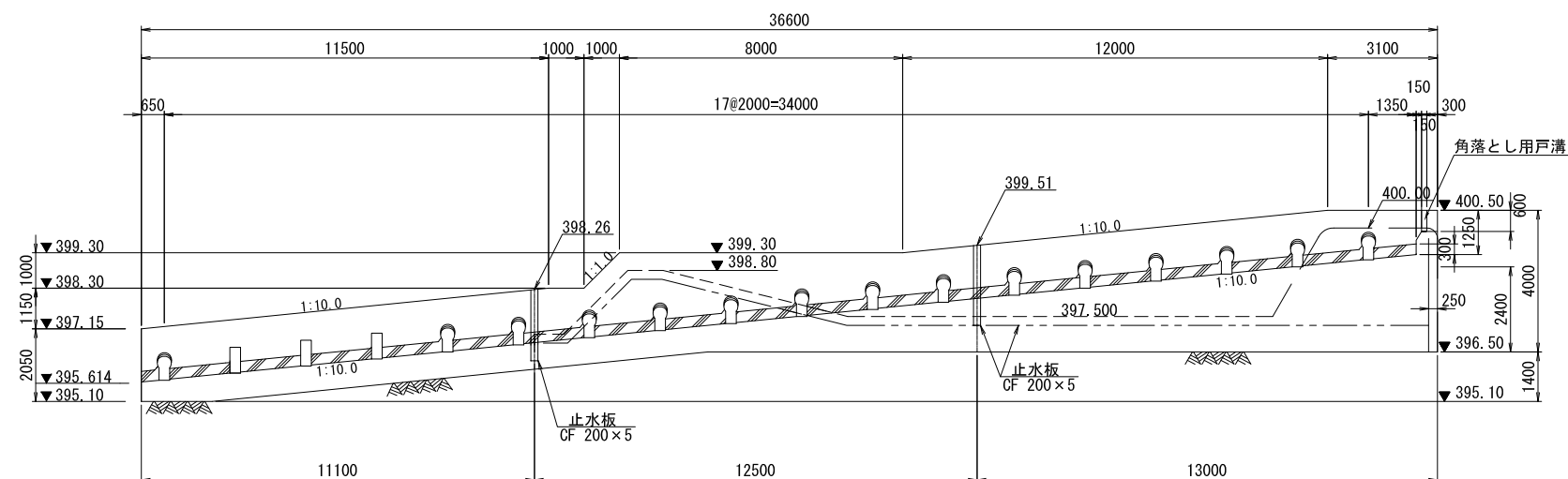
工事名		浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名 称		取水設備構造図(6)	
		縮尺 S=1:100	
登録番号	整理番号	8/13	
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所			

魚道 構造図

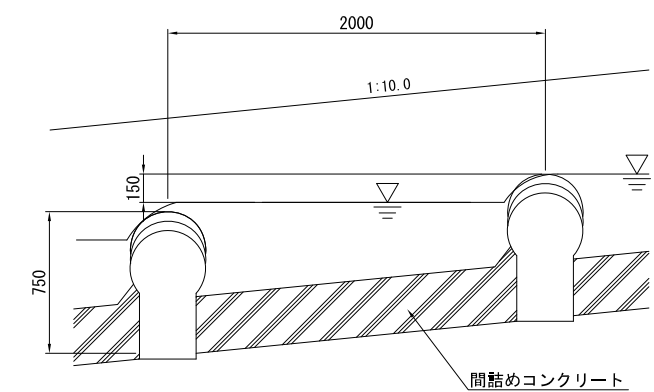
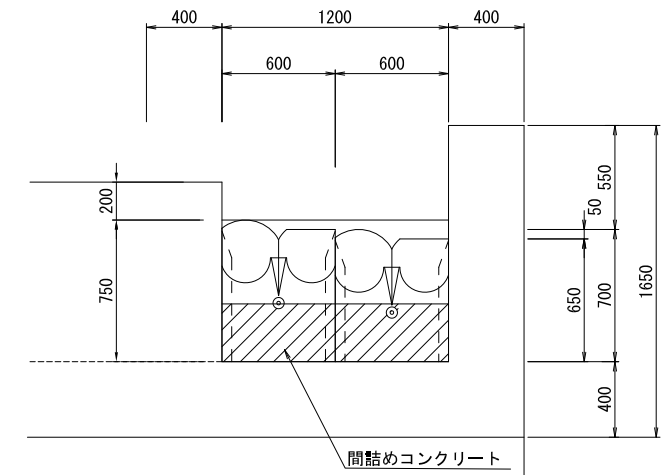
平面图 S=1:100



縦断図 S=1:100



標準断面図 S=1:20



工事名		浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名 称		魚道 構造図	
登録番号		25-03-02	縮尺 図 示
		整理番号	9/13
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所			

浮遊管平面図

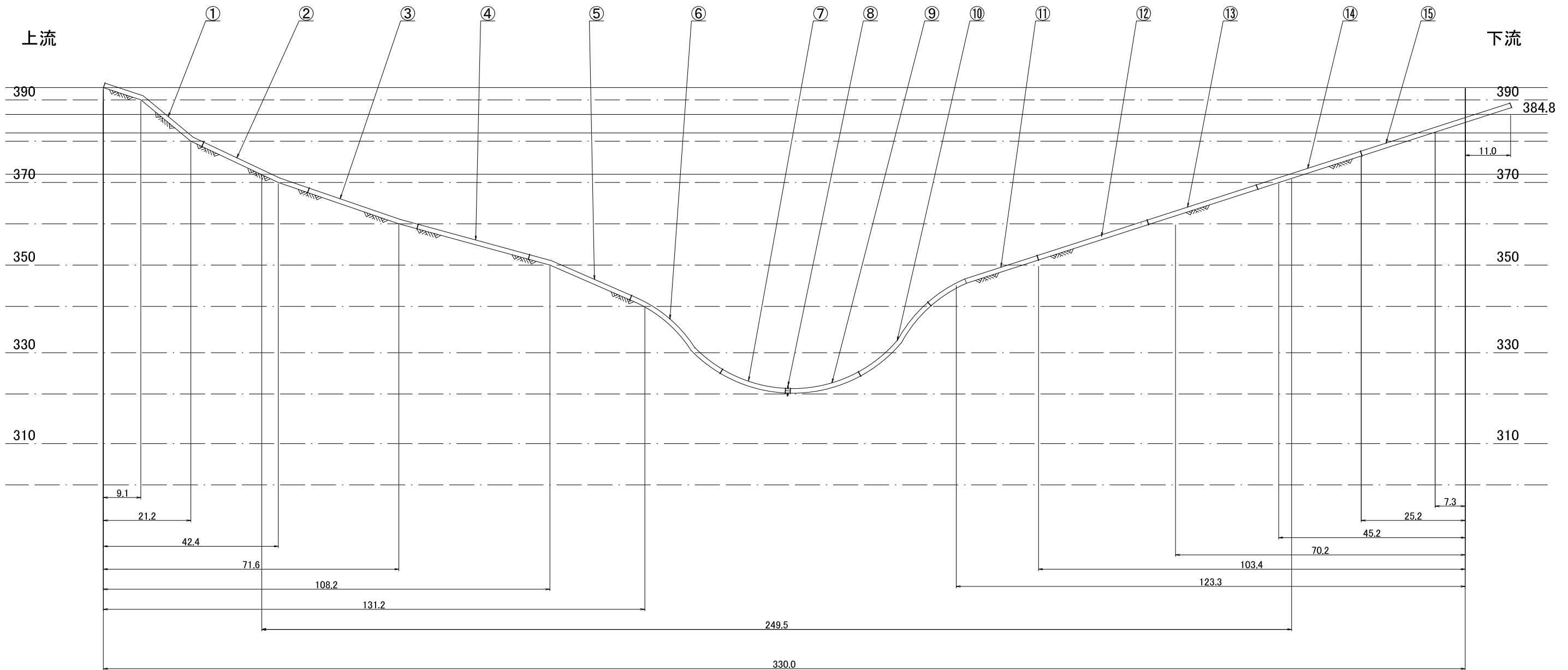
S=1:500



工事名	浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)		
名 称	浮遊管平面図		
		縮尺 S=1:500	
登録番号	整理番号	10/13	
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所			

浮遊管 管割図

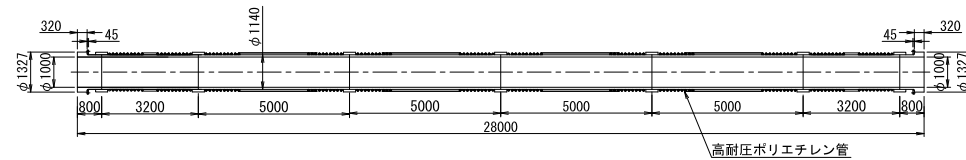
S=1:125



①②⑭⑮部割付

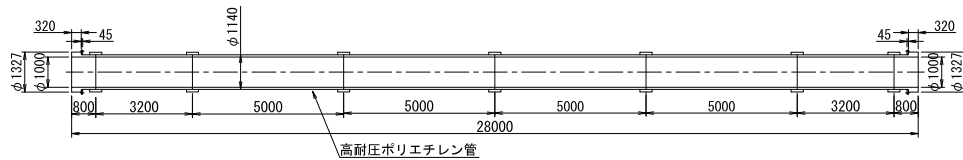
t=70mm リブ付管

※更新対象



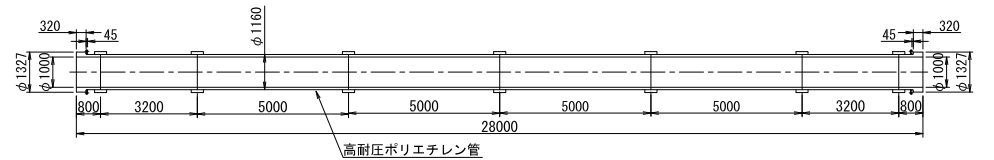
③④⑤⑪⑫⑬部割付

t=70mm



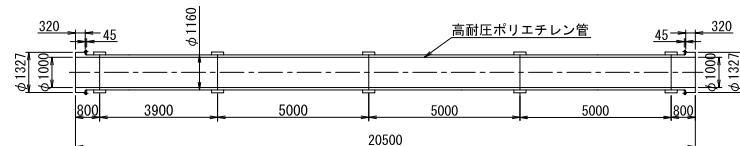
⑥⑩部割付

t=80mm



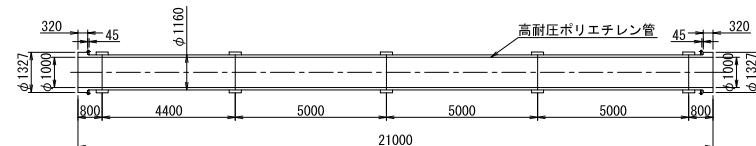
⑦部割付

t=80mm 長さ調整管



⑨部割付

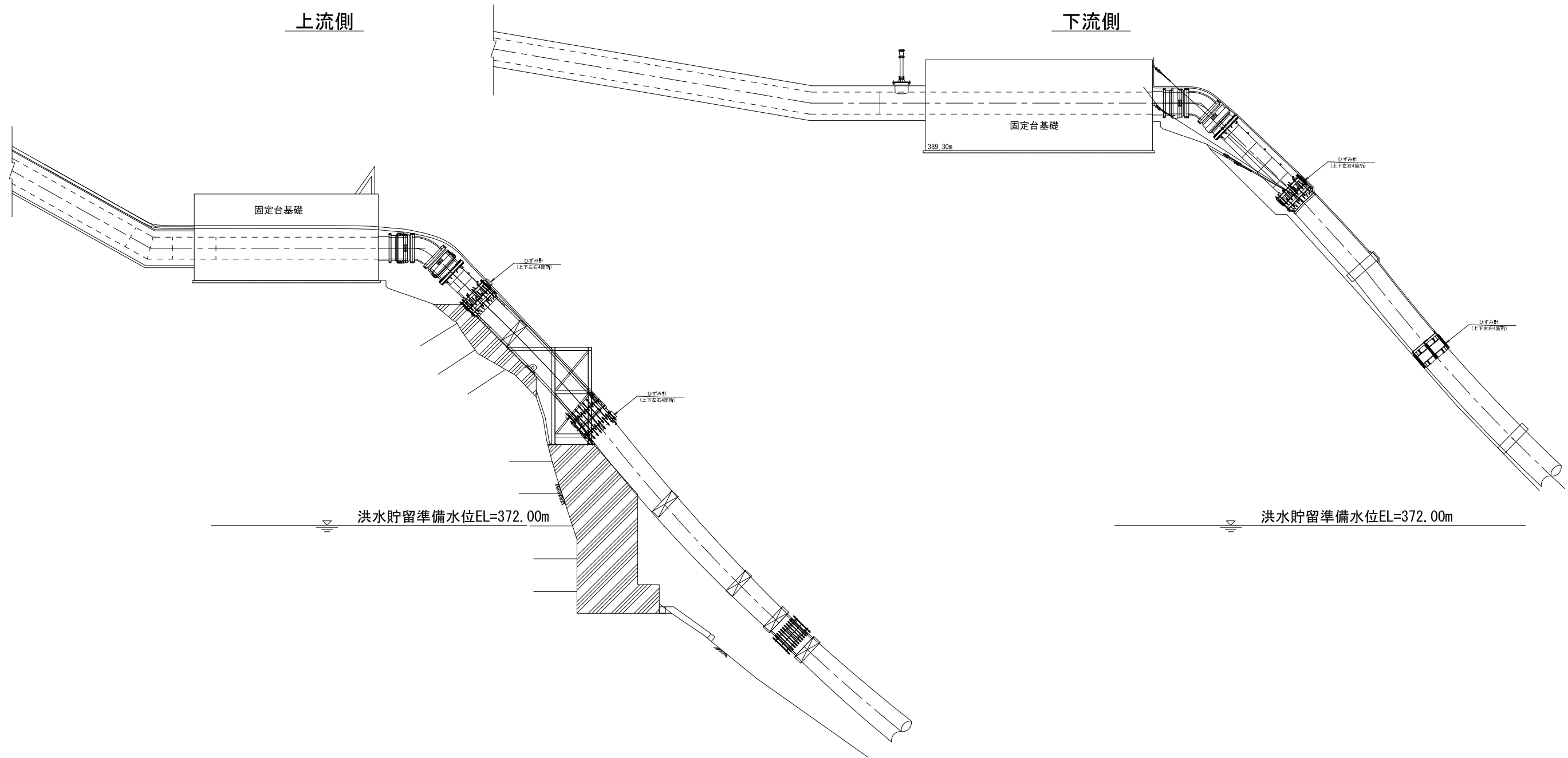
t=80mm 長さ調整管



工事名		浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)	
名 称		浮遊管 管割図	
		縮尺 図示	
登録番号	整理番号	11/13	
独立行政法人 水資源機構 荒川ダム総合管理所			

浮遊管接続部縦断図

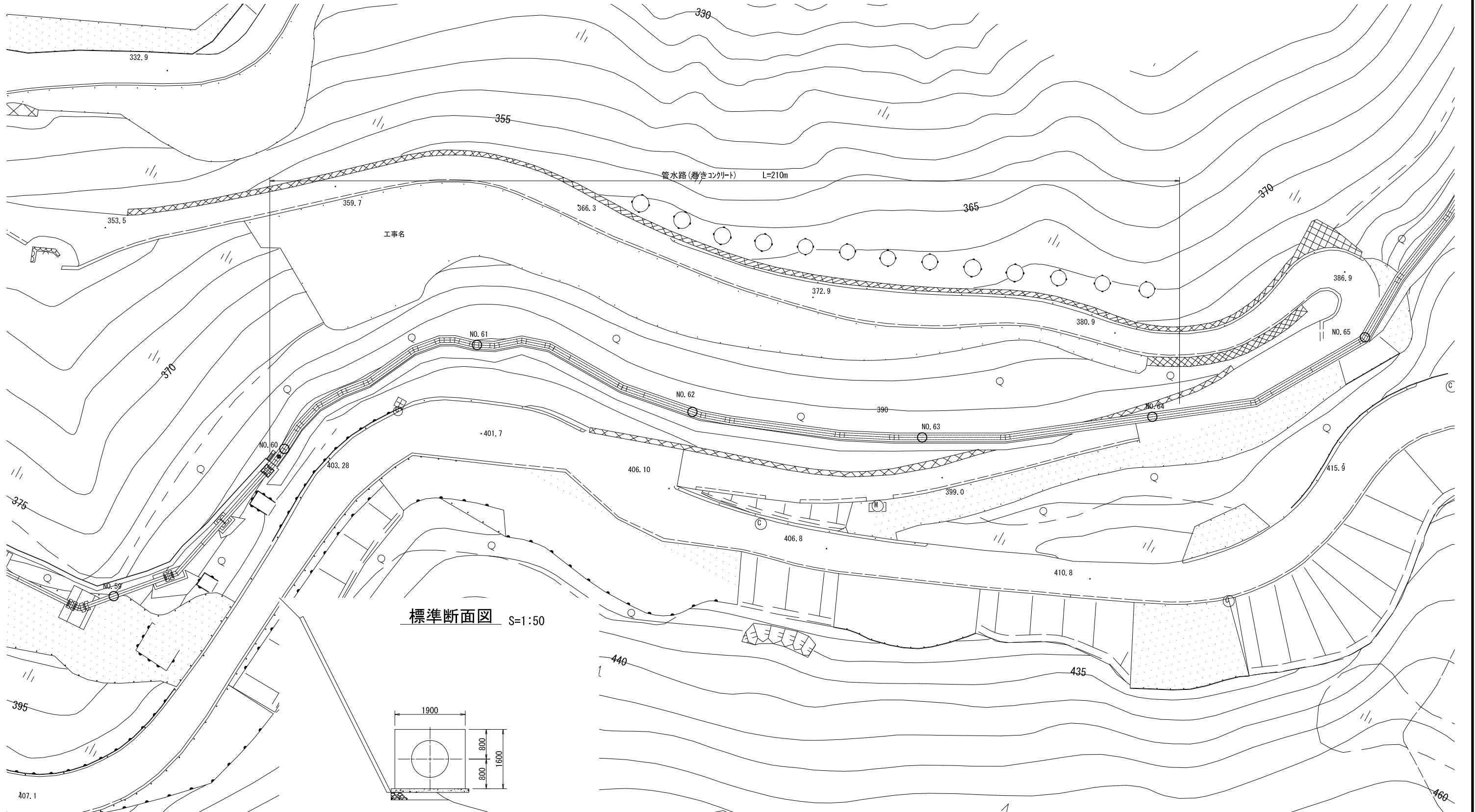
S=1:100



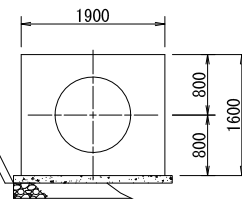
工事名	浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)		
名 称	浮遊管接続部縦断図		
	縮尺 S=1:100		
登録番号	整理番号	12/13	
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所			

管水路一般図

平面図 S=1:400



標準断面図 S=1:50



S=1:50
0m 1m 3m

S=1:400
0m 10m 50m

工事名	浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)		
名称	管水路一般図		
登録番号	整理番号	縮尺	S=1:400
	13/13		
独立行政法人 水資源機構 荒川ダム総合管理所			

歩掛参考見積書

件 名 浦山ダム清水バイパス補修設計業務(仮称)

名 称	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
設計計画								
現地踏査								現場内移動費用含む
取水堰改修設計								
基本事項の検討								
取水堰改修設計								
設計図の作成								
施工計画書の作成								
数量計算								
概算工事費算出								
照査								
報告書作成								
浮遊管代替検討								
基本事項の検討								
水中部現況調査								水中ドローン費用含む
浮遊管現況解析								
浮遊管代替案検討								
照査								
報告書作成								
管路補修設計								
管路補修設計								
管路基礎洗掘箇所の補修設計								
点検足場の補修設計								
設計図の作成								
施工計画書の作成								
数量計算								
概算工事費算出								
照査								
報告書作成								

※ 1)各項目において、直接人件費の人数を記入して下さい。

2)現地踏査に必要な移動手段の費用及び調査に必要な機械費用は、労務費に含めて計上して下さい。

なお、上表は記入例であり、この他に必要な項目等がある場合は、適宜変更または追加してください。